

令和 5 年度事業計画

(2023 年 4 月 1 日 – 2024 年 3 月 31 日)

I. 定期学術集会・総会の開催

第 70 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会期： 令和 5 年 5 月 24 日（水）～26 日（金）
会場： つくば国際会議場
会長： 杉山文博（筑波大学）
参加者： 約 1,000 名を予定

II. 通常総会、理事会、理事評議員懇談会の開催

通常総会（1回）、理事会（3回）、理事評議員懇談会（1回）を開催する。

III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」は下記のとおり発行（電子配信）する。

発行年月日	巻	号
2023 年 4 月 1 日	72	2
2023 年 7 月 1 日	72	3
2023 年 8 月 1 日	72	Supple (Proceedings of the 70 JALAS Conference)
2023 年 10 月 1 日	72	4
2023 年 1 月 1 日	73	1

IV. 研究の奨励、業績の表彰をする。

（1）令和 5 年度学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞（2名）

喜多正和 会員

高倉 彰 会員

2) 安東・田嶋賞（1名）

久和 茂 会員（東京大学）

「マウス肝炎ウイルスのマウス個体の感染防御機構およびマウス個体間での伝播に関する研究」

3) 奨励賞（1名）

吉沢隆浩 会員（信州大学）

「筋拘縮型エーラスダンロス症候群の疾患モデル動物の開発と解析」

4) 2022 年 Experimental Animals 最優秀論文賞 (3 編)

・川上浩平、松尾裕之、梶谷尚世、山田高也、松本健一

Comparison of survival rates in four inbred mouse strains under different housing conditions: effects of environmental enrichment

「4 系統の近交系マウスにおける異なる居住条件下での生存率の比較：環境エンリッチメントの影響」

・マクシェヴァ ユリア、鄭琇絢、秋津葵、前田菜摘、丸橋拓海、葉曉琪、海部知則、西城忍、孫海陽、韓偉、唐策、岩倉洋一郎

The C-type lectin receptor Clec1A plays an important role in the development of experimental autoimmune encephalomyelitis by enhancing antigen presenting ability of dendritic cells and inducing inflammatory cytokine IL-17

「C 型レクチン受容体 Clec1A は、樹状細胞の抗原提示能を高めるとともに 炎症性サイトカイン IL-17 を誘導することにより、実験的自己免疫性脳脊髄炎の発症に重要な役割を果たしている」

・大野民生、宮坂勇輝、吉田勘太、小林美里、堀尾文彦、横井伯英、水野正司、池上博司

A novel model mouse for type 2 diabetes mellitus with early onset and persistent hyperglycemia

「早期発症し持続的高血糖を示す新たな 2 型糖尿病モデルマウス」

(2) 2022 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

2022 年受賞者 (4 名)

中国 : Ms. Xiaoliang Jiang

台湾 : Dr. Yu-Wen Liu

韓国 : Mr. Jae-Hun Ahn

インドネシア : Dr. Ahmad Kurniawan

(3) 第 70 回日本実験動物学会総会・優秀発表賞の選考及び表彰を行う。

(4) 令和 6 年度の功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。

(5) 2023 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(6) 2023 年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

(7) 第 73 回日本実験動物学会総会大会長を選出する。

V. 役員 (令和 6~7 年度在任) の改選に関わる諸事業

(1) 会員名簿を作成する。

(2) 理事候補者を選出する。

VI. 委員会等の活動

下記の委員会を設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 国際交流委員会
- e. 広報・情報公開検討委員会
- f. 動物福祉・倫理委員会
- g. 定款・細則・規定等検討委員会
- h. 実験動物感染症対策委員会
- i. 教育研修委員会
- j. 実験動物管理者研修制度委員会
- k. 外部検証委員会
- l. 人材育成委員会
- m. 将来検討委員会
- n. 動愛法等対策委員会

VII. 動物実験に関する外部検証

「動物実験に関する外部検証事業」を外部検証プログラムに沿って実施する。

VIII. 外部検証のための人材育成

文部科学省のナショナルバイオリソースプロジェクト「外部検証推進のための人材の育成と活用」課題を推進する。

IX. 関連学協会等との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力する。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力する。
- (3) 国際実験動物科学会議 (ICLAS) 及びアジア実験動物学会連合 (AFLAS) における活動を継続する。
- (4) 韓国実験動物学会 (KALAS) など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターや日本動物実験代替法評価センター (JaCVAM) の活動に協力する。

X. その他

- (1) 第 70 回日本実験動物学会総会期間中に学会及び委員会主催のシンポジウムおよびセミナー等を開催する(学術集会委員会、実験動物感染症対策委員会、教育研修委員会)。

- また、関連学協会との円卓会議および日韓円卓会議を実施する。
- (2) 令和 5 年度維持会員懇談会を開催する（財務特別委員会）。
 - (3) 第 11 回実験動物科学シンポジウムを開催する（学術集会委員会）。
 - (4) 実験動物管理者等研修会を開催する（実験動物管理者研修制度委員会）。
 - (5) 外部検証専門員講習会を開催する（人材育成委員会）。
 - (6) 動物実験の外部検証実施準備に向けた説明会を開催する（人材育成委員会）。
 - (7) 動物実験や動物福祉・倫理を啓発するポスターを作成・配布する（動物福祉・倫理委員会）。

以上